

年度末で忙しい3月も要注意の季節です。
焦らず安全運転で、新しい4月を迎えましょう。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



教習車に『急ブレーキ注意 !!』って書いてある...



この映像の訴求ポイントは...

- ◎前車が急ブレーキでも停まれるよう、車間距離は十分に。
- ◎教習車やタクシーの後につく場合は特に！



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



やらせ、ではありません



この映像の訴求ポイントは...

- ◎ボールが見えたら徐行です。子供ももれなく付いてきます。
- ◎では、対向車列の隙間からは何が出てくるでしょうか？



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



車道を走る歩行者：シニアカー



この映像の訴求ポイントは...

- ◎こちらに気づいていなければ、飛び出しの可能性があります。
- ◎あなたから見えていても相手が気づいているとは限りません。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



追い抜きは一時、怪我一生



この映像の訴求ポイントは...

- ◎法律で右側から追い越しせよとあるのには理由があります。
- ◎他の法律にも理由があるはず。では、一時停止は？



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



カーブミラーに少女運転のバイクが!



この映像の訴求ポイントは...

- ◎カーブミラーは見通しの悪い要注意箇所にあるものです。
- ◎サイドミラーには死角があります。ではカーブミラーには？



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】花粉症の季節にクルマで外出するときのアドバイス

本来なら春の訪れは嬉しいはずですが、花粉症の人にとってはつらい季節の到来でもありますね。この時期にクルマで外出するときのポイントです。

まず、運転する方は薬の服用に注意しましょう。つらい花粉症を抑えるのに服用した薬で運転中に眠くなってしまっては本末転倒です。抗アレルギー薬のなかには眠くならないものがありますので、そのような薬を選ぶようにしましょう。点鼻薬や点眼薬も有効です。これらの薬を、花粉が飛び始める1～2週間前から事前に服用しはじめるのも効果があるそうです。

ところで、花粉症を発症し始めの頃は、花粉症と思わずに「風邪かな？」と、風邪薬を飲む人もいます。この時期に必ず調子が悪くなると感じたら、一度、医療機関で血液検査をしてもらい、アレルギー物質を特定することをお勧めします。花粉症という名前があるので、つい、花粉だけがアレルギー反応を起こす物質と感じてしまいがちですが、花粉以外にも、ダニやハウスダスト、ヨモギなど、アレルギー反応を起こす物質は人によって様々です。アレルギー検査で原因物質を特定できれば、適切な対処法をとることができます。

クルマでの外出時は、車内に花粉を入れないように、できるだけ窓を閉めましょう。また、エアコンは風量が大きければ大きいほど花粉などを除去する能力が落ちます。エアコンは風量を下げて使います。普段はエアコンを“オート”に設定している方が多いかと思います。“オート”だと、作動し始めのときは風量が最大になることがありますので、設定を手動に切り替えておきましょう。

エアコンフィルターは汚れると除去率が落ちます。定期的に交換しましょう。最近のエアコンフィルターには花粉除去に対応したものがありますので、そのような製品に交換するのも良いかもしれませんね。

花粉症がひどい人は、エアコンを外気循環から内気循環にしたうえで、車内用の空気清浄機を使うという手もあります。シガーソケットから電源を供給して動くポータブルタイプのものなど、最近では手頃な価格の製品があります。最近では自動車用品店で、空気清浄機コーナーや花粉対策コーナーが設けられていることがありますので、足を運んでみてはどうでしょうか？



4月は新学期・新入社の季節です。生活道路では通学路に注意！
新社会人の方は慣れない社用車での無理な運転は禁物です。



身軽な児童、間一髪！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎信号のない横断歩道は歩行者優先です。
- ◎安易な追い抜きは事故のもと！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



集団登下校の小学生が横断中

この映像の訴求ポイントは…

- ◎横断歩道の通過は徐行が鉄則です。
- ◎子供は飛び出すものと思え！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



右側確認なしに歩道を走る自転車

この映像の訴求ポイントは…

- ◎ガードレールの切れ目からの車道飛び出しにご注意を。
- ◎あなたから見えていても相手が気づいているとは限りません。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



車列の横切りは見通しの悪い出会い頭

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の切れ目は見通しの悪い交差点と同じ（出会い頭）。
- ◎車列の切れ目から飛び出すのは…車・自転車・歩行者。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



信号見落としヒヤリハット

この映像の訴求ポイントは…

- ◎目は見ているのに脳は見えていないことがある（意識の脇見）。
- ◎走行中は運転操作だけ。別のことは駐・停車中に！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ドライブレコーダー映像を見るのは交通安全にどう役立つのでしょうか？

自動車の運転は、「認知→判断→操作」のサイクルで成り立ちます。運転中に会った交通環境のなかで事故へと至る危険を読み取って（認知）、事故回避のためになにをすべきかを考え（判断）、ブレーキをかける・ハンドルをきるといった運転操作を行う（操作）。この一連の動作のなかで、最初の「認知」が最も重要であることは言うまでもありません。では、良く周りを見て注意をすれば、事故は防げるのでしょうか？

まず、第一に、運転中に刻々と変化する交通状況のなかで「どこを見るべきか」「何に気をつけるべきか」というように、注意すべきポイントを知っていることが必要です。交通事故は様々な状況で起こりますが、お互いが接触することで事故が起きることだけは共通しています。咄嗟に相手がこちらに向かってきてもできる限り接触を避けることが可能な運転はどうすれば良いのか？それを多くのパターンで学ぶことが必要になります。

第二に、自動車は非常に早い速度で移動していますから、見たその瞬間に事故へと至る危険を読み取って瞬時に適切な判断・操作につなげなくてははいけません。このようなスピードを要求される認知・判断・操作は自然に身につくものではありません。

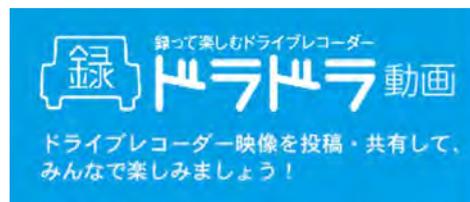
これから皆さんに毎月ご覧いただく映像は、皆さんと同じマイカードライバーが現実目撃した事故やニアミスの事例を記録したものです。これらの映像を見る意義は、同じようにハンドルを握る私たちにとって事故やニアミスを疑似体験させてくれることにあります。すなわち、皆さんが運転中に映像と似たような交通環境に遭遇したときに映像のシーンを思い出し、暗示される危険を連想することで危険回避の運転操作につなげることが期待できるのです。

そのためには、できるだけ記憶に残りそうな映像を、できるだけ多く、できれば継続的に見ていただくことが重要です。ぜひ講習時だけでなく、プライベートでも、ドライブレコーダー映像をご覧になってください。見続けていれば、いつのまにか安全運転が身についているはずですよ。

☆右のサイトでは、DVDに未収録のドライブレコーダー映像も多数ご覧いただけます。ぜひ一度、アクセスしてみてください。



皆さんが運転中に映像のシーンを思い出して未然に事故回避できる運転操作につなぐことがあったなら、講習は大成功です！



ドラドラ動画 <https://www.drive-drive.jp/>

5月は行楽シーズン。混雑しますが、時間と心に余裕をもって、事故のない楽しいドライブの思い出を作ってください。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



危なかった！！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の切れ目からの飛び出しに要注意！
- ◎信号のない横断歩道の通過は徐行が鉄則です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわやサンキュー事故

この映像の訴求ポイントは…

- ◎相手に悪いと焦る気持ちが「サンキュー事故」を引き起こす！
- ◎譲ってもらったときこそ念入りな安全確認を。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



バスの陰から人が出てくるのも「出会い頭」のうち

この映像の訴求ポイントは…

- ◎停車したバスの追い越しは徐行が鉄則。
- ◎横断歩道手前（30メートル）の追い越しは禁止。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



一旦停止をしていれば

この映像の訴求ポイントは…

- ◎見通しの悪い交差点は徐行と一時停止が鉄則。
- ◎シートベルトとチャイルドシートでもらい事故対策を！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あっぶねえ…

この映像の訴求ポイントは…

- ◎進路変更時はミラーだけでなく必ず目視で確認を！
- ◎併走車の前にも注意を払いましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】夏前の涼しい季節でも油断禁物…車内での熱中症にご注意を！

うららかな春から初夏の気配も感じるこの頃は、暑くなく、寒くもなく、過ごしやすい季節ですね。この時期、お子さんを連れて家族でドライブにでかける方も多いことと思います。この時期に注意したいのは車内温度。涼しいからといって、子供を車内に寝かしたままにするのは危険です。外では少し肌寒く感じるほどでも、直射日光があたると、車内温度は急上昇します。

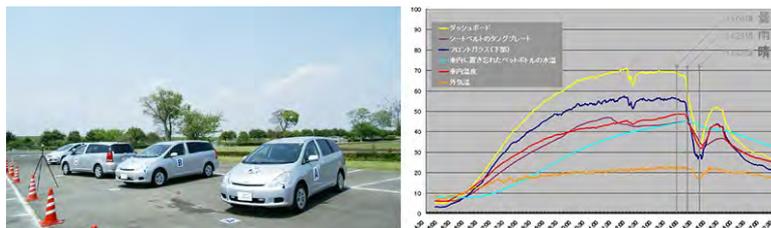
涼しくて天気の良い日に車内温度がどれくらいまで上がるかJAFがテストしたときは、最高気温が23℃と過ごしやすい1日だったにもかかわらず、車内温度は50℃近くまで上昇。車内に置いた缶入り炭酸飲料が破裂してしまいました。

子供を寝かしたままパチンコ…は論外としても、お店の駐車場で子供が寝ているうちにちょっと買い物を…といったことは皆さん経験がありそうです。しかし、短時間だから安心というわけでもありません。専門家によると、赤ちゃんは一見気持ちよく寝ているように見えても、体内では大人が小走りしている時と同じくらいの代謝をしているそうです。春先の車内でスヤスヤと寝ていても、10分程度の短時間のうちに重篤な症状になる恐れがあるということです。

実際、車の鍵を無くしてしまい時間が経過、子供がぐったりし始めたために、やむなく窓ガラスを割って車内の子供を救助した事例もあります。鍵を置いたまま子供がドアロックしてしまったなど、意図しないも閉じ込みもあります。

予め時間の余裕があれば、多くの無理や危険は避けることができます。ドライブに最適な春の季節。時間に余裕をもった安全で楽しいドライブをご家族とお楽しみください。

☆春先の車内温度（JAF ユーザーテスト）はJAFホームページでご覧いただけます。



涼しいからといって油断は禁物…。
車の中は高温になることも。

この用紙は両面印刷でご利用ください。

(裏)

6月は梅雨の季節です。雨天での運転が増えます。
撥水剤などで視界の確保を。タイヤの溝もチェックしましょう。

この用紙は両面印刷でご利用ください。

(表)



タイヤのすり減りは事故のもと

この映像の訴求ポイントは…

- ◎タイヤのすり減りは事故のもと。定期的なチェックを！
- ◎雨の日の急加速・急ブレーキ・急ハンドルは禁物です。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわや、人身事故！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎横断歩道の通過時は目視で左右確認を！
- ◎雨滴で見えにくい場合は撥水剤などで視界をクリアに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



もう少しブレーキが遅ければ、轢いていました。

この映像の訴求ポイントは…

- ◎駐車場は徐行が鉄則！
- ◎駐車場では子供の手を離してはいけません。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



過失割合より事故を起こさぬように！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎見通しの悪い交差点は徐行が鉄則！

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



運転中の器具操作

この映像の訴求ポイントは…

- ◎低速走行中の機器操作（車内への脇見）は事故のもと！
- ◎走行中は運転操作だけ。別のことは駐・停車中に。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】ゲリラ豪雨時のアンダーパスは要注意！

近年、ゲリラ豪雨などで冠水していることに気が付かずに侵入し、車が水没する事故が多発しています。水没事故の危険がある冠水場所は、主として鉄道や幹線道路の立体交差にあたるアンダーパス（半地下式のトンネル道）です。これら冠水注意箇所は、首都圏一都六県だけでも800箇所に及ぶなど、全国に点在しています。

アンダーパスをはじめとする冠水の恐れがある道路には、あらかじめ排水用のポンプや警告表示板などが設置されていますが、集中豪雨の場合は、ポンプによる排水が間に合わないなどで、冠水してしまう場合もあるそうです。また、入口に設置されている警報機がうまく作動しないということもあります。

冠水した場所に車が進入したらどうなるか？ JAFで実験を行ったところ、セダンタイプの車で水深が30センチと大人の膝下くらいの水の量でも、場合によってはエンジン内部に大量の水が入ってしまい、エンジン停止を誘発する恐れのあることが分かりました。

実際の冠水路では、一見、水位が低そうに見えても水深が深い場合があります。運悪く冠水路で立ち往生し、クルマが水没してしまうと、水圧でドアが開かずに車内に閉じ込められるなどの危険が生じます。冠水路に遭遇したら安易に進入せず、迂回するようにしましょう。

- 1) 豪雨時は視界も悪く危険なため、一時的に運転・外出を控えましょう。
- 2) やむを得ずに運転する場合は、冠水の危険がある場所は避けて通しましょう。
- 3) 冠水路は見た目では水深が分かりません。安易に進入せずに、迂回しましょう。
- 4) 冠水注意箇所は国土交通省の地方整備局がホームページで公開していますので、事前にチェックしておくのもお勧めです。
- 5) 緊急時に脱出するための道具を装備しておくで安心です（※窓を割るハンマーとシートベルトを切断するカッターが一体となった専用のものが量販店で販売されています）。



- [1] 水深60センチの状況でスライドドアを開けるのは非常に困難だった。
- [2] ドアが開けられない場合はハンマーでサイドウィンドウを破壊して窓から脱出する。
- [3] シートベルトカッターと一体型となったハンマー。運転席から手の届く場所に常備したい。

梅雨が明ければ、待ちに待った夏の到来です。
生活道路では夏休みで元気な子供たちに注意！



スプラッシュマウンテン

この映像の訴求ポイントは…

◎冠水した道には進入してはいけません！

◎ゲリラ豪雨時は無理をせず、外出を控えましょう。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



歩行者接触事故

この映像の訴求ポイントは…

◎「いける」と思った瞬間こそ要注意。サンキュー事故も同じ。

◎見えない死角は頭を動かして目視を確認を。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



子供の飛び出し はねる寸前・・・。

この映像の訴求ポイントは…

◎対向車線の車列の切れ目は飛び出しに要注意！

◎車列の通過は徐行が鉄則。足はブレーキペダルに。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



あわや

この映像の訴求ポイントは…

◎急がず、焦らない運転が無事故の秘訣。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



やられました・・・

この映像の訴求ポイントは…

◎車間距離をあけていないと、もらい事故でも加害者に。

◎ヘッドレストを後頭部に合わせましょう（追突対策）。

類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

この用紙は両面印刷でご利用ください。

(表)

【コラム】制限速度、守ってますか？

国産車でのスピードのメーター表示は、実際の速度よりも少し高めに表示されている車種が多いこと、ご存知ですか？例えば、メーター表示で100km/hのときは実際の速度は90～94km/hくらい、というように、1割増し程度の表示が多いようです。ならば「50km/h」の標識がある道路ならば、メーター表示で55km/hで走行すれば違反ではない???

むしろ流れのよい幹線道路などではメーター表示で70km/h（実際は64km/h程度？）近くの速度が出ていることもあるのが実情ではないでしょうか。都市高速では、道路構造上から「60km/h」規制の場所も多いですが、すいている夜間などは、メーター表示80～100km/hで流れていることも。残念ながら速度違反は常態化しているのが実情と言えます。

このような主要幹線道路や高速道路での実勢速度との乖離については、国も見直しに向けて検討を始めています。その一方で、生活道路については「ゾーン30」規制など面的な低速度規制を推進しています。

生活道路では、車と人・自転車等が接触する危険が大きく、交通事故のデータからは、車の速度が30km/hを超えると衝突した相手（人や自転車）の死亡率が急激に増えることが分かっています。生身の人に鉄の塊がぶつかるわけですから、衝突時の速度が人の身体に与えるダメージの大きさに直結するわけで、その致命傷になるか否かの分岐点が30km/hなのです。

メーター表示で30km/hであれば、実際の速度は26～28km/h程度で、仮に事故が起きても相手の命が助かる可能性は高いこととなります。また、30km/h以下の速度だと運転操作にも余裕が出来ますので、事故や危険を未然に回避することも可能になります。生活道路はメーター表示30km/h以下を遵守して走行することを常識にしたいですね。



生活道路では、路地から人や自転車が飛び出してくることも少なくありません。制限速度を守り、特に狭い道路や見通しが悪い場所は20km/h以下に徐行しましょう。

帰省や旅行で高速道路をつかう場合は、
事前に渋滞ピークを避けて快適なドライブを。

この用紙は両面印刷でご使用ください。

(表)



公園から自転車が・・・

この映像の訴求ポイントは…

- ◎信号のない横断歩道の通過は徐行が鉄則！
 - ◎子供がいそうな施設の近くは、ゆっくり走りましょうね。
- 類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



雨の早朝、高速道路にて

この映像の訴求ポイントは…

- ◎シートベルトやチャイルドシートを正しく装着しましょう。
 - ◎制限速度を守っての安全運転が結果として一番の近道です。
- 類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



メリハリのある運転を！

この映像の訴求ポイントは…

- ◎理由もなく停車したり、ウロウロする車はいません。
 - ◎その不審な動きの車の前には何かがあるのかも。
- 類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



事故です！・・・が・・・

この映像の訴求ポイントは…

- ◎高速道路で車が停止したらすぐにガードレールの外側に避難！
- 類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。



高速道路の車線変更に注意

この映像の訴求ポイントは…

- ◎車線変更時は、必ず顔を動かして目視で確認を！
 - ◎相手の死角に入らない運転を心がけましょう。
- 類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

【コラム】お盆で帰省…長距離ドライブで気をつけることは？

夏の行楽シーズン、旅行や帰省で高速道路をつかって長距離をドライブされる方も多いかと思います。今回は長距離ドライブのトラブル防止についておさらいしましょう。

高速道路のトラブルで多いのが、1) タイヤのパンク、2) 燃料切れ、3) バッテリー上がり、です。

まずタイヤのパンク。空気圧が不足していたり、キズなどが原因で、高速走行中にバースト（破裂）してしまう事例が少なくありません。出発前に、タイヤの溝に異物が挟まっていないか、キズがないか、空気圧は適正か、タイヤをチェックしましょう。空気圧はほとんどのガソリンスタンドで計ることができます。

次に燃料切れ。予期せぬ渋滞やトラブルに巻き込まれたり、地方ではガソリンスタンドの数が減っていて、思うように給油ができないことも起こります。燃料計が半分を切る頃を目安に、早めの給油を心がけましょう。セルフスタンドを利用する場合は軽油とガソリン（レギュラー／ハイオク）の違いにもご注意を。

バッテリー上がりの原因は、ライトなどの消し忘れやバッテリー自体の劣化など原因は様々です。出発前にはバッテリーのチェックを。また、行楽シーズンでは、渋滞などで停車や低速走行が長時間続くと、エンジンによる発電量よりもエアコンやライトなどの電力使用量が上回ってしまうこともあります。エアコン、ライト、ワイパー、オーディオなど、同時に使う場合は不要なものをこまめに消すようにしましょう。

最後に、もし不運にも高速道路でトラブル発生により車が停まってしまった場合は、すぐに乗員全員が路肩にあるガードレールの外側に避難しましょう。停車車両に後続車が追突し、大惨事に至る事故が起きています。まずは自分たちの安全を確保した上で、必要な措置（表示板・発炎筒の設置、通報や救援のための電話連絡）を講じましょう。



万が一、高速道路でトラブルが発生し、停車を余儀なくされたら、車を路側帯に止め、ハザードランプを点滅させて、すぐにガードレールの外側に避難しましょう（車外に出るときは必ず助手席側から出ます）。後続車のために、三角表示板や発炎筒を設置します。同乗者がいる場合は、後続車対応と通報・救援の連絡を分担して行ってください。